

# 創設45周年 ヒーブらしい共創社会の実現へ

## 一般社団法人日本ヒーブ協議会

### 関西支部長 辻 美智子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、皆さまにはご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年を振り返りますと、2月にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が起り、世界中でエネルギー価格の高騰、物価高が進みました。これにより、今なお企業・生活者ともに大きな影響を受けています。日本では、民法改正により4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられました。今後、若年層の消費教育や自立した消費者を育成することがますます重要となるため、日本ヒーブ協議会においても、この社会課題に対して一層尽力するとともに、ヒーブらしさ（生活者と新しい価値を共に創る）がより発揮できればと考えております。

支部活動では、以前より関西学院大学、神戸学院大学におきまして、「企業と生活者をつなぐ」「現代の社会（消費者問題）」をテーマに、会員自身が使命感を持って講義をおこなわせていただいております。また、神戸市消費生活会議、神戸市消費者苦情処理審議会への委員派遣をはじめ、大阪府男女共同参画推進財団主催の女子高校生ガールアップセミナーのメンター、大阪府消費者教育学生リーダー養成講座（AICE）への講師派遣も、継続して取組んでおります。

学生とのディスカッションを通じて、デジタルネイティブのZ世代の方たちにとって、SDGsがすでに自分ごと化され、日々実践が積み重ねられていることを実感しました。当協議会が掲げる理念「誰もが自分らしさを発揮して混じりあい、生活者視点の価値を生み出す社会へ」に沿った、多様性を持つ次世代リーダーが育成されています。

そのほか、今年度もACAP西日本支部の皆さまと2度の合同例会を開催させていただき、9月度は「性的役割とは何だろう、ヒトの場合・動物の場合」をテーマに、動物行動学から多様性を学びました。所属団体や立場は異なりますが、共働きに対する価値観、現代ビジネス社会における性的役割や今後ありたい姿について、活発な意見交換をおこなうことができました。

本年はいよいよヒーブ創設45周年を迎えます。関西支部の大きな特色である産官学連携をさらに深め、消費者教育の枠にとどまることなく、ヒーブが大切にしている「幸せ価値を創造するために自ら行動できる人」が増えていくよう、月例研究会をベースにした情報発信をおこなってまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

恭賀新年